

あすなろ通信

茅ヶ崎高校校長だより
No.31 令和2年3月2日

矢を射る者

第69回卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。心より祝福したいと思います。

皆さんは、歴史ある茅ヶ崎高校の一員として、伝統を引き継ぎながら、さらに茅高を発展させてくれました。皆さんが卒業した後は、在校生と教職員が力を合わせて、さらによい茅ヶ崎高校を作っていきたいと思います。今回は、限られた参加者での卒業式でしたが、今日のこの日まで皆さんを見守ってくれたすべての人たちが、皆さんの新しい門出をきっと祝福してくれていると思います。

あしたから、皆さんは社会人の仲間入りです。これからの新しい生活に大きな夢を抱いているのではないのでしょうか。きっと楽しいことがたくさんあると思いますが、これまで以上に辛いことや、大変なこともあるかもしれません。もしかすると、失敗することの方が多いかもしれません。また、今回のように、予測不能なことが今後もあるかもしれません。

そんなとき、どうか今日の旅たちの日の想いと、周りの人たちからの支えを忘れずにいてほしいと思います。何か困ったことがあったら、遠慮せずに茅ヶ崎高校に相談に来てください。茅ヶ崎高校は、皆さんにとって「我が母校」であり、いつでも力になりたいと思います。卒業生も2万6千人を超えており、きっと皆さんの味方になってくれる筈です。

在校生の皆さん、突然の臨時休業に大変驚いていると思います。そして、楽しみにしていた1年間のまとめの学校生活や合唱祭ができないこと、本当に残念だと思います。

今度、皆さんが登校するのは4月の始業式の予定です。それまでの期間は、まず一人ひとりが健康に留意して、家庭学習に取り組み、また元気な姿で茅ヶ崎高校の門をくぐってほしいと思います。

修了式の時に予定していた離任式も行うことができません。今年も何人かの先生が異動されますが、直接皆さんに語りかけることはできません。これまで皆さんと、この茅ヶ崎高校で、共に高校生活を送ってきた先生方の言葉を思い出して、4月からの新しい生活に向かってほしいと思います。

私から、いつも卒業生に贈っている大好きな詩を、在校生の皆さんにも贈ります。これからも元気で活躍してください。今日まで本当にありがとう。

矢を射る者

武者小路実篤

俺の放つ矢を見よ。
第一の矢はしくじった、
第二の矢もしくじった、
第三の矢もまたしくじった。
第四、第五の矢もしくじった。
だが笑うな。
いつまでもしくじってばかりはいない。
今度こそ、
今度こそと
十年あまり
毎日、毎日
矢を射った。
まだ本物でないにしろ
たまにはあたり出した。
見よ
今度の大きな矢こそ
人類の心の真ただ中を
射あてて見せる
そしてぬけない矢を
俺の放つ矢を見よ。



茅高ニュース ～茅高よ、世の荒波を分けて進め～

茅ヶ崎賞の表彰を行いました

目立たない所でがんばっている生徒を表彰する「茅ヶ崎賞」の表彰を、今年も行いました。在校生は修了式ができないため、クラスで表彰を行いました。

全日制では、文化祭のゲートを作成してくれた1年3・4組のクラス有志、沖縄の調べ学習で力を合わせて素晴らしい発表を行った2年3組のグループ、校舎案内などを作成してくれた3年生の美術選択者、書道部の活動で茅ヶ崎高校を盛り上げてくれた3年生を表彰しました。また、定時制では、幾多の困難を乗り越えて卒業証書を手にした卒業生を表彰しました。

表彰できなかった皆さんも、きっと目立たないところでたくさん活躍してくれたことでしょう。ぜひ、この1年間の自分の取組に、自信と誇りを持ち、4月からの新しい生活に繋げてほしいと思います。